

District 地区だより News Letter



Vol.10
2014.4.1

Governor's  News Letter
ガバナー ニュースレター

2013-2014 年度

国際ロータリー会長 **ロン D. バートン**

国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)

2013-2014 年度 ガバナー **森本 信一**

Content

- 2 ガバナーメッセージ
- 3 第 7 グループIM 報告
- 4~5 青少年交換委員会
- 6 津山中央RC 創立 25 周年記念式典を終えて
- 7 岡山東ロータリークラブ創立 45 周年記念式典を終えて
- 8~10 地区だより
- 11 出席報告

津山郷土博物館

(登録有形文化財) 津山市

1933年(昭和8年)建築された旧津山市庁舎。鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階。外観は質素であるが、昭和初期の典型的な官庁建築の特徴を良く表している。



ガバナーメッセージ

ロータリーの雑誌月間

国際ロータリー第2690地区
(津山RC) ガバナー **森本 信一** もりもと しんいち



4月は「ロータリーの雑誌月間」です。世界中のロータリアンにとって不可欠な情報源であるロータリー雑誌の重要性を認識する特別月間です。Eメールやインターネットが通信手段として多く使われておりますが、殆どのロータリアンにとって主たる情報源はやはり印刷物でしょう。このためロータリーの雑誌月間はロータリアンの公式雑誌や地域雑誌を再認識する良い機会であると言えます。

ロータリーの雑誌には、国際ロータリーの公式雑誌である「The Rotarian」とRI理事会が承認した「公式地域雑誌」（日本の場合は「ロータリーの友」）があります。

そして「ロータリークラブの会員は、会員身分を保持する限りロータリーの雑誌を有料で購読しなければならない」と定められています。

ロータリー雑誌の特徴についてみると、

(1) 公式雑誌：「The Rotarian」は1911年以来、毎月約50万部が発行されており、全世界のロータリークラブが存在する地域の読者に配布されています。その特徴は、

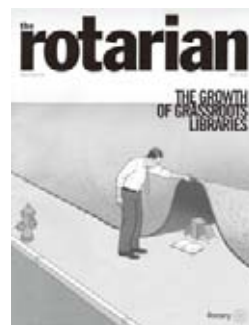
- ① 地域の問題や世界的問題に対しロータリーの影響度について記載。
 - ② クラブや地区の活動状況について記載。
 - ③ クラブ運営に欠かせない情報をロータリアンに提供。
- 等が盛り込まれており、またこれらに関する特集記事もピックスとして掲載されています。

(2) 地域雑誌：24ヶ国語で30種の地域雑誌は、129カ国、75万のロータリアンに定期的に購読されています。これらの雑誌は、RI公式ニュース、RI理事会、財団管理委員会の決定事項の抄録、RI会長メッセージ、有意義なクラブプロジェクト、そして地域の話題が掲載されています。

(3) 日本の「ロータリーの友」：2013年1月に創刊60周年を迎え、1980年にはRIの公式地域雑誌として認められ、現在公式地域雑誌の中では最も発行部数が多い雑誌です。電子版の発行準備も進められています。

(4) ガバナー月信(ニュースレター)

ロータリーの公式雑誌ではありませんが、地区とクラブを結ぶ重要な情報提供手段として「ガバナー月信」があります。従来「ガバナー月信」はガバナーからクラブの会長、幹事への情報提供手段として位置付けられていますが、現在は地区内全会員へ配布され、地区や各クラブの情報を全会員に提供しています。第2690地区2013-14年度は「District News Letter」の名称で、冊子とメール両方で毎月地区やクラブのニュースをお送りしています。



The Rotarian



ロータリーの友



District News Letter

2013-2014年度RI2690地区第7グループIMの実行委員長を仰せつかって約1年余り、開催日前日の朝を記録的な降雪の中で迎えようとは夢にも思っていませんでした。

1年前から準備を始めたとは言え、IM開催のプレッシャーを実際に感じ焦燥感を覚え始めたのは、やはり残り3箇月程度になってからでした。「8年前にもやるんだからノウハウはある。何とかなる。」と自身に言い聞かせながらも、そこはやはり8年ぶりのこと、少なからず不安を感じていました。そこに前日の、あの『雪』でした。



会員数の減少が止らずIM開催が決まってからも退会会員が出続ける中、現会長のIM開催方針は『従来の形を踏襲するのではなく水島クラブの独自色を出す。』というもの。更には「人数が少なくなったからといって言い訳はしたくない。山椒は小粒でもピリリと辛いところを見せようぜ。」というラップ付きの勇ましいもの。「With Pleasure!」と勢い込んで答えてはみたものの、はてさて。有り様は、本当にしんどいものでした。

しかし、基調講演の講師に『倉敷芸術科学大学学長 唐木英明氏』を招聘することに成功し、また学生諸君の協力を取り付けることも出来て、初めて「なんとか道筋が付き始めたかな。」と感じ始めました。当クラブの会員に倉敷芸術科学大学の教授がいてくれたことも、まさしく天佑でした。大学で教鞭をとる多忙な日常をおくりながら、本IM開催の『核』となって行動してくれた



彼のIM開催にかける想いに、私は感謝をし拍手を送りたいと、そう思っております。勿論、各会員が其々個性を発揮し最高の頑張りを見せてくれたことは言うまでもありません。『船頭多くして舟山に上る。』と、統率の取れない集団を揶揄する諺があります。ロータリークラブは事業主の集まりです。当然、その危惧はありました。

が、しかし現会長の強力な統率力とカリスマ性で見事に『舟』は目的地に着きました。



開催日を控え、各会員の協力体制は日に日に強くなって来てはいましたが、それを決定的なものにしたのは、あの『2月8日の雪』ではなかったか、と私は思っています。

「IMは成功だったのか?どうだったのか?」それは自分たちで決めるものではありません。しかし、あの『雪』と我がクラブ会員が見せた『底力』は水島クラブが続く限りずっと、語り継がれるものであろうと、私は確信しています。

ロータリー地区だより

青少年交換委員会より、派遣学生決定 ～三地区合同オリエンテーション～

青少年交換委員会委員長 近堂 申洋

昨年の12月7日に次年度(2014-2015年)の派遣学生選考会を開催し、2名の応募者に対して、英語筆記試験、英会話、面接を行いました。二人とも非常に優秀な成績で合格しました。その二人は、岡山旭川RC推薦、岡山城東高等学校2年の岡邊晴香さんと、倉吉RC推薦、倉吉東高等学校1年の伊藤香織さんです。ロータリーでは派遣学生を「小さな親善大使」と呼んでますが、彼女達には一年間の派遣留学に向けて、8月の渡航までの間にレポート提出や数度の研修等を受けてもらうことになります。RC例会でのスピーチも必須です。



改めて紹介します。今現在の海外に派遣している学生(アウトバウンド)は、鳥取県立倉吉東高等学校の浦田大地君がカナダ、岡山県立岡山朝日高等学校の新内千尋さんがノースカロライナ州、島根県立益田高等学校の鮎川夏希さんと清心女子高等学校の長谷川舞さんがフロリダ州でそれぞれ頑張っています。今現在の来日学生(インバウンド)は、カナダから来たニコール・クリスティン・ベーカーさんが岡山県立岡山城東高等学校に、フロリダ州から来たアマンダ・ミシェル・ボルスさんが益田市の明誠高等学校に就学しています。

2月22日～23日には、毎年恒例の3地区(中国5県、四国4県)合同オリエンテーションが倉敷シーサイドホテルで開催されました。これには派遣候補者2名と来日学生2名とロータリアンが参加しました。この研修では主に個人個人のプレゼンを中心に行われました。派遣学生は日本語と英語、来日学生は日本語でのプレゼンです。ファシリテーターの大楠正子様(NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会)の厳格的確な指摘を受けながら皆達成感と気づきを得たようです。特別講師の濱恵介様(青少年交換派遣第一期生、オーストラリア派遣、1962年)の講演は派遣から派遣後の人生や今も続く友情のお話をいただきました。

今更ですが、ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたり国際理解と平和の種を播く機会を多くの青少年に提供することです。これは受入学生の通う学校の在籍学生や地域社会にとっても同じです。ロータリーの目的である『第4、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること』を事業化しているわけです。このプログラムは、1920年代にヨーロッパの少数のクラブの間で始まりました。そして1972年、RIの理事会が世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意して以来、今日では毎年8,000人以上の青少年交換学生が海外に渡り、およそ80カ国で生活し勉学に励んでいます。日本では、1961年5月、東京で初めて開催されたロータリー世界大会で太平洋戦争の対日戦闘で失われたオーストラリア人ロータリアン、ドナルド・ファーカー氏が、「和解と親善のために日本人の若者を自国に招待したい」と提案したことがきっかけとなり、翌年初めて日本人学生がメルボルン南方のファーカー氏のクラブに派遣されました。当時の日本は映画「ALWAYS 三丁目の夕日」の時代といえはイメージが湧くと思います。一方、受け入れるオーストラリアではまだまだ敵国日本からの留学生ですからメンバーには多くの反対があり、ファーカー氏が一人ずつ説得したそうです。当時の様々な困難さは想像以上のものだったろうと思います。

さて、現在の我が国の英語教育に目を向けると、文科省もその重要性を認知し、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)制度を2002年度から開始しまし

た。これは、指定された高等学校は研究予算が支給され、英語教育に重点をおいた教育課程・カリキュラムの開発や中学校や大学との英語教育の面での効果的連携のあり方を研究していくプログラムです。この度派遣学生に決まった岡邊さんの城東高校は第一期指定校、伊藤さんの倉吉東高校は第二期指定校です。そして、急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、2014年度からはスーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)制度が開始されます。語学力だけでなく、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来的に政治、経済、法律、学術等の分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する、というものです。SGHは内閣総理大臣が主催する「教育再生実行会議」で提言されたものです。このような流れに乗って、ロータリークラブの第4の目的の推進に向けて青少年交換プログラムを、産学官地域、そして学生達とともに力を合わせ発展させていきたいと考えます。

次に費用について説明します。派遣学生は往復航空券、保険、留学に必要な書類(パスポートやビザなど)等、特に手厚い保険加入を推奨しているので、ざっと80~90万円が必要です。ただし、地区委員会から30万円の助成金ができます。また、いずれの県教育委員会も実施していますが、高校生留学支援事業という制度があり、申請して上手くいけば40万円の支援金を受けれる可能性があります。派遣先ホストファミリー宅での部屋代とか食事代は現地のRCから提供されます。毎月小額の給付金(お小遣い)も現地のRCから支給されます。

一方、海外からの学生を受け入れていただくRCには、受入学生の生活費用として概ね60万円/年、毎月の小遣い用として12万円/年、RCの諸費用として5万円/年を地区委員会から助成します。これらの費用は、第2690地区会員の皆様の会費から1,600円/人、合計500万円以上の予算を預らせていただいております。この場を借りまして会員皆様



に厚くお礼を申し上げます。

青少年交換プログラムは大変意義のある事業であります。近年、受入&派遣していただくクラブは偏っていて、一部のクラブの努力により少人数の受入&派遣ながらこのプログラムを維持している状況です。全国35地区(含む2810地区)で我が地区の受入数は下から5番の30番目、派遣数は下から4番の31番目(累計数)が現状です。一番大きな壁はホストファミリーを受けていただく事が困難なようです。自宅の間取りや介護等様々な理由があると思います。また、会話(コミュニケーション)に不安があるのも理由の一つでしょう。しかしこれらを乗り越えなければ当地区でこのプログラムは挫折してしまいます。ホストファミリーは必ずしもロータリアンの家庭である必要はないので、皆様のネットワークで引き受けてくださる家庭を見つけることも検討してみてください。青少年交換プログラムを貴クラブ様の有意義な事業の一つに組み入れていただき、地区委員会を活用していただければ幸いです。

最後になりますが、派遣学生達からの報告書を地区HP(<http://www.rid2690.jp/>)の上部の「お知らせ」に披露しております。どうか見てやってください。そして、例会等での話題の一つにしていただければ幸いです。今後とも、学生達と青少年交換委員会にご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



津山中央 RC 創立25周年記念式典を終えて

津山中央ロータリークラブ 会長
國米 一朗

平成26年2月2日、津山中央ロータリークラブは、創立25周年記念式典を開催いたしました。国際ロータリー2690地区森本信一ガバナーをはじめとすご来賓の皆様、第8グループの会長・幹事の皆様方のご臨席を賜りました。また友好クラブの高知中央RC山中会長はじめ14名、米子中央RC都田会長はじめ11名の皆様をお迎えして開催できましたことに大変感激いたしました。式典では、ご来賓の森本信一地区ガバナーとスポンサークラブ・津山西RC太田洋一会長からお祝いと温かい励ましのお言葉をいただきました。



当クラブは、平成元年2月18日、津山西ロータリークラブをスポンサークラブとして、26名のチャーターメンバーで発足しました。その後会員数は51名をピークに現在は26名の少人数のクラブですが、「桜の植樹」を主体とした地域の方々との協働による環境保全活動・青少年育成等、身の丈に合った「地域奉仕活動の実践」に努め、奉仕の理想を追求しています。



この度の記念事業としては、▽津山市観光協会の「さくら基金」に▽米山記念奨学会に▽ロータリー財団に、各10万円、1,000ドルを寄贈させていただきました。また、創立時からのメンバー7人に感謝状と記念品を贈り、長年の貢献をたたえました。引き続き、美作大学短期大学部の若林美佐子先生の記念講演「エンドオブライフ-最後まで自分らしく生きるため-」を開催いたしました。



当クラブの今年度は「ロータリーで喜びをお互いに知ろう」をテーマとし、会員の親睦と友情を第一に、高い志と活力を持った元気なクラブになることを目指しています。

25年の節目を迎え、周年行事を祝うとともに新しい活動のスタートとして、ご来賓の言葉を励みに下半期は、25周年以降を見据えて「新たな一歩」を踏み出す記念の年としたいと考えます。

最後に、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。創立25周年の報告と致します。

岡山東ロータリークラブ創立45周年記念式典を終えて

広報委員長 若林 宣夫

2月16日(日)11時より岡山プラザホテルに於いて、岡山東RC創立45周年記念式典が会員78名を含む総勢142名が参加して行われました。横山洋創立45周年実行委員長の「開式の言葉」につづき、石井英行会長の挨拶、森本信一ガバナーをはじめご来賓の祝辞を賜りました。また記念事業の一つとして、「岡山後楽園並びに岡山城の案内看板」を岡山市に寄贈しました。スポンサークラブの岡山RCへの記念品贈呈、チャーターメンバー並びに在籍45年会員への記念品贈呈の後、功労者表彰、第41代～45代の会長・副会長・幹事がそれぞれ表彰を受けました。

つづいて45周年記念祝宴が開催され、延原正パストガバナーによる乾杯の後、祝宴がスタート。アトラクションとして「岡山ミュージックパラダイス」によるナツメロなど素晴らしい演奏があり、最後は「手に手つないで」の大合唱で閉宴しました。

我がクラブは、1969年(昭和44年)2月8日に岡山ロータリークラブのスポンサーにより、33名の創立会員によりスタートし、1989年(平成元年)から約7年間100名を超える会員数を維持した時期もありましたが、現在の会員数は90名となっております。創立以来のこの間、我がクラブがスポンサーとなり、備前ロータリークラブ、岡山丸の内ロータリークラブの設立にも関わらせて頂きました。我がクラブを人の人生に例えるなら、岡山RCをスポンサーにして誕生し、20歳の成人式や不惑の40歳や厄年も過ぎ、今ようやく一番脂がのり自信と活力に満ちて仕事出来る45歳を迎えたと言えると思います。

本年度は、石井英行会長の活動方針である「敬上慈下～ロータリー家族愛を深化させよう」をテーマに活動して来ました。「敬上慈下」とは、岡山県出身の法然上人の言葉で



「目上を敬い、目下を慈しむ」という意味で、クラブ内の融和をより一層深めたいとの石井会長の思いであります。年末家族特別例会では、会員90名の全員出席と家族を含め238名の出席で、45周年に相応しい盛大な会を開催できました。また、ホームクラブ出席率も7月スタートから2月第1例会まで88.26%と、45年間で最も良い数字で推移しています。この結果は、岡山東RCの歴代会長が築かれた親睦を軸にしたクラブ運営という素晴らしい伝統が全会員に浸透し、ロータリー家族愛が深化した結果であろうと思います。

次なる50周年に向かって、45年間積み重ねてきた我がクラブの伝統に加えて、RIや地区のお力をお借りしながら、新たにベトナムでの国際奉仕事業や東北支援活動など、国際奉仕や社会奉仕部門にも一層力を入れて参りたいと考えております。45周年が次の大きな節目である50周年に向けて飛躍するための意味深い年にしたいと思っております。

(石井英行会長開式の辞 一部引用)



地区だより (2014年2月)

新会員ご紹介



福田龍男 新見RC 三上幸恵 新見RC 宮本英基 新見RC 大濱宏一 倉敷RC 穂津田孝一 倉敷中央RC 小林高光 真庭RC 赤木將城 真庭RC 小松 幹 岡山RC 片山 正 玉野RC

ロータリー財団への寄付

ベネファクター



大佐古弘之 鳥取中央RC 手銭正之 大社RC 谷本光音 岡山後楽園RC

ポール・ハリス・フェロー



渡部 孝 2 出雲RC 大源富雄 2 江津RC 高橋剛吉 1 笠岡東RC 江原和之 1 笠岡東RC 山本雅夫 1 笠岡東RC 頃末謙治 2 笠岡東RC 藤本隆志 2 岡山後楽園RC 谷本光音 3 岡山後楽園RC

ポリオ・プラスへの寄付



土井基之 4 岡山後楽園RC 國貞繁樹 2 岡山後楽園RC 内山満義 4 岡山後楽園RC 宇喜多俊材 1 岡山後楽園RC 吉田啓一 1 岡山後楽園RC

米山記念奨学会への寄付

米山 功 労 者



塩飽繁樹 1 笠岡RC 荒木賢治 2 岡山後楽園RC 藤本隆志 1 岡山後楽園RC 居森正而 1 岡山後楽園RC 川本平山 4 岡山後楽園RC 岸本泰博 1 岡山後楽園RC 西山 悟 4 岡山後楽園RC 佐伯行生 4 岡山後楽園RC 谷本光音 2 岡山後楽園RC 吉田啓一 1 岡山後楽園RC

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューター

出雲RC…渡部 孝が、故母、渡部 久のために 津山RC…脇 利幸が、故養父、脇 太郎のために
岡山南RC…中島美子が、故夫、中島 保のために

クラブ特別寄付 (年次寄付)

鳥取RC…444.22ドル(ミリオンダラーミール) 鳥取北RC…245ドル(その他)
平田RC…410ドル(財団BOX) 笠岡東RC…217.65ドル(ミリオンダラーミール)

地区だより (2014年2月)

ロータリー財団への寄付

クラブ使用指定寄付 (ポリオプラス)

松江しんじ湖RC…1,000ドル

使用指定寄付をいただいた方々 (ポリオプラス)

鳥取RC	油野利博 船本源司 岸本信一 長石 肇 荻原誉康 城谷和成 谷口麻有子 山岸正明	芦谷 茂 古澤 巖 小原隆三 中村碩男 岡嶋公則 杉山長毅 谷本光正 山本康雄	安住庸雄 星見清晴 小谷文夫 中尾喬一 大村匡由 住川英明 豊島良太 矢野弘之	馬場 進 今井陸雄 幸田伸一 中谷浩輔 大西弘明 鈴木 現 坪井秀明 米原正明	千葉俊樹 石谷暢男 久保真人 西田良平 尾崎 繁 高橋哲夫 土江征典 吉田友和	藤川昭夫 甲斐英則 倉下光明 延原政行 嶋田耕一 高野 剛 植木壽一	藤縄匡伸 木井伸二 松本宏思 野口稔浩 四宮佑一 竹内ひとみ 涌本祐之	福嶋登美子 木俣信行 松浦 広 小田光則 塩 宏 谷口譲二 山岸晃浩
笠岡東RC	新井善久 江原公平 頃末英克 中新 隆 山本雅夫	工藤一郎 大嶋元義 榊原啓士 原田俊三 吉岡孝恭	三宅達夫 岡辺賢二 鈴木紘一 福嶋啓祐 大島俊明	奥野千秋 岡原 稔 高田慎也 淵野瑛木 佐藤林平	池田 孝 小川隆則 田淵純雄 牧野真樹	石田官義 越智信子 土屋康文 松田重雄	恵谷龍二 金子洋方 中務祺九大 光井 伸	江原和之 頃末謙治 長鋪方隆 棕梨孝章
岡山南RC	中島美子							
岡山岡南RC	藤野 優	磯邊 崇	中前貴子	齋藤仁昭	高戸正勝	吉井良治		

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取RC	油野利博 船本源司 岸本信一 長石 肇 荻原誉康 城谷和成 谷口麻有子 山岸正明	芦谷 茂 古澤 巖 小原隆三 中村碩男 岡嶋公則 杉山長毅 谷本光正 山本康雄	安住庸雄 星見清晴 小谷文夫 中尾喬一 大村匡由 住川英明 豊島良太 矢野弘之	馬場 進 今井陸雄 幸田伸一 中谷浩輔 大西弘明 鈴木 現 坪井秀明 米原正明	千葉俊樹 石谷暢男 久保真人 西田良平 尾崎 繁 高橋哲夫 土江征典 吉田友和	藤川昭夫 甲斐英則 倉下光明 延原政行 嶋田耕一 高野 剛 植木壽一	藤縄匡伸 木井伸二 松本宏思 野口稔浩 四宮佑一 竹内ひとみ 涌本祐之	福嶋登美子 木俣信行 松浦 広 小田光則 塩 宏 谷口譲二 山岸晃浩	
米子東RC	小田浩一								
米子中央RC	橋本晴人 高塚建二	村岡誠一 辻田哲朗	播間和雄 都田修史	国頭芳夫 福元儀智	高橋直樹 安本辰雄	吉田登志子 伊達真奈美	中村暢宏 小林一人	中島賢二 影山昌秀	
松江しんじ湖RC	金見邦明	小塚隆訓	溝本浩二	安田和平	吉村日出国	野津孝義			
笠岡東RC	新井善久 岡辺賢二 榊原啓士 原田俊三 吉岡孝恭	池田周二 岡原 稔 鈴木紘一 福嶋啓祐 大島俊明	池田 孝 小川隆則 高田慎也 淵野瑛木 三宅達夫	石田官義 越智信子 田淵純雄 牧野真樹 高橋剛吉	恵谷龍二 金子洋方 土屋康文 松田重雄 奥野千秋	江原和之 工藤一郎 中務祺九大 光井 伸 佐藤林平	江原公平 頃末謙治 長鋪方隆 棕梨孝章	大嶋元義 頃末英克 中新 隆 山本雅夫	
岡山後楽園RC	赤島 健 岡本営松	赤木 匠 小野 剛	秋定 健 佐伯行生	藤本隆志 眞田信二	居森正而 未光 茂	犬養吉晴 谷本光音	丸山夏樹 鳥越貞成	宮崎雅史 内海睦雄	
岡山中央RC	青山 肇 岩城孝男 小西忠孝 小田 慈 浦田永二	荒木雷太 甲斐志郎 河野昌晴 小川 昇 渡邊浩哉	浅田祐次郎 梶田良雄 小武守研二 小野 隆 山下龍子	武用君彦 河田隆介 眞木哲之 尾坂明義 横畑利行	江原芳男 河田圭子 三澤壮一郎 太田正和 吉田治郎	江原芳男 河田圭子 三澤壮一郎 太田正和 吉田治郎	井上博之 川口慶行 守谷欣明 杉山 守 吉田 守	入野昭三 木口盛雄 中野和之 田中秀和	石津日出雄 小林敏成 二木安一 田中宏一

米山記念奨学会への寄付

クラブ普通寄付

米子RC…165,000円	米子中央RC…72,000円	大社RC…120,000円	平田RC…105,000円
総社RC…95,000円	倉敷RC…178,000円	岡山東RC…270,000円	岡山北RC…112,500円
岡山丸の内RC…72,000円			

クラブ特別寄付

笠岡RC…28,305円(米山ランチ)

地区だより (2014年2月)

米山記念奨学会への寄付

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取RC	油野利博 船本源司 岸本信一 長石 肇 荻原誉康 城谷和成 谷口麻有子 山岸正明	芦谷 茂 古澤 巖 小原隆三 中村碩男 岡嶋公則 杉山長毅 谷本光正 山本康雄	安住庸雄 星見清晴 小谷文夫 中尾喬一 大村匡由 住川英明 豊島良太 矢野弘之	馬場 進 今井陸雄 幸田伸一 中谷浩輔 大西弘明 鈴木 現 坪井秀明 米原正明	千葉俊樹 石谷暢男 久保真人 西田良平 尾崎 繁 高橋哲夫 土江征典 吉田友和	藤川昭夫 甲斐英則 倉下光明 延原政行 嶋田耕一 高野 剛 植木壽一	藤縄匡伸 木井伸二 松本宏忠 野口稔浩 四宮佑一 竹内ひとみ 涌本祐之	福嶋登美子 木俣信行 松浦 広 小田光則 塩 宏 谷口讓二 山岸晃浩
米子東RC	小田浩一							
米子中央RC	浅中 誠 鈴木雅美 清川博敏 高橋直樹	福元儀智 辻田哲朗 中村暢宏	播間和雄 魚谷 純 伊達真奈美	細谷洋一郎 安田壽朗 田宮大悟	橋本晴人 安本辰雄 田内靖人	国頭芳夫 吉田登志子 中島賢二	松澤弘一 杉原 讓 影山昌秀	都田修史 高塚建二 小林一人
岡山後楽園RC	赤畠 健 福光富則 小坂和也 岡本宮松 高山雅之	赤木 匠 福島正春 國貞繁樹 岡村和則 田邊敬三	秋定 健 蜂谷真規 丸山夏樹 小野 剛 鳥越貞成	秋山義信 長谷博明 松井浩明 大角雄三 内山満義	浅海淳一 畠瀬真治 宮崎雅史 眞田信二 宇喜多俊材	土井志郎 犬養吉晴 中村淳一 芝田堅志	藤本洋平 岩根宏行 中村善一 末光 茂	藤原 學 片山康雄 那須保友 高原弘海

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



河村 修一 会員
(智頭RC)
2014年2月2日ご逝去(享年54歳)
2009年6月24日入会
とっとり福祉サービス(有) 施設管理者
介護業務



藤田 富士夫 会員
(松江南RC)
2014年2月26日ご逝去(享年83歳)
2003年8月11日入会
藤田社会保険労務管理総合事務所 所長
社会保険労務士
2006-2007年度クラブ出席委員長



山下 浩史 会員
(赤磐RC)
2014年2月9日ご逝去(享年62歳)
2008年1月8日入会
山下農機商会(赤磐市議会議員) 代表
農機具販売
2013-2014年度0-外-財団委員長(理事)



信江 茂 会員
(岡山南RC)
2014年2月20日ご逝去(享年90歳)
1980年6月7日入会
公益財団法人慈生会慈生病院 理事
精神科病院
1996年-1997年度第41代副会長

先月号の訂正とお詫び

地区だより3月号(VOL.9)に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

- P.10 地区だよりの年月に誤りがありました。
(誤)地区だより(2013年12月)→(正)地区だより(2014年1月)
- P.11 出席報告の年月に誤りがありました。
(誤)出席報告(2013.1月)→(正)出席報告(2014.1月)

出席報告(2014.2月)

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会員数					
				7月1日	2月末	内女性会員	増減		
第1グループ	鳥取	98.77%	85.06%	4	59	61	3	2	
	倉吉	99.40%	79.17%	3	56	56	2	0	
	鳥取北	85.31%	78.32%	3	50	49	6	▲1	
	智頭	90.91%	84.09%	4	10	11	0	1	
	倉吉東	93.90%	68.29%	4	42	41	3	▲1	
	鳥取西	84.95%	78.16%	4	52	53	0	1	
	鳥取中央	83.33%	79.17%	4	38	36	0	▲2	
	倉吉中央	86.96%	63.04%	4	22	23	2	1	
計(8)	90.44%	76.91%		329	330	16	1		
第2グループ	米子	78.43%	54.90%	4	63	66	3	3	
	境港	76.00%	68.85%	3	44	44	0	0	
	米子東	81.69%	64.59%	4	87	89	7	2	
	米子南	83.02%	67.92%	4	52	56	3	4	
	米子中央	84.03%	71.53%	4	35	36	2	1	
計(5)	80.63%	65.56%		281	291	15	10		
第3グループ	松江	93.13%	69.92%	4	64	67	0	3	
	松江南	95.08%	82.92%	4	64	63	4	▲1	
	隠岐西郷	69.84%	58.73%	3	22	22	0	0	
	松江東	91.29%	84.58%	4	56	62	0	6	
	松江しんじ湖	94.44%	71.94%	3	65	67	11	2	
計(5)	88.76%	73.62%		271	281	15	10		
第4グループ	出雲	82.61%	73.19%	3	47	48	1	1	
	大社	79.65%	61.63%	4	47	48	3	1	
	出雲南	95.02%	86.61%	4	60	61	7	1	
	平田	90.97%	87.10%	4	40	42	2	2	
	出雲中央	80.98%	76.63%	4	44	46	3	2	
計(5)	85.85%	77.03%		238	245	16	7		
第5グループ	浜田	94.09%	78.81%	4	54	60	1	6	
	益田	95.00%	70.00%	4	19	20	2	1	
	江津	81.37%	75.49%	3	32	34	1	4	
	大田	88.04%	84.78%	4	24	26	3	2	
	益田西	96.55%	73.28%	4	30	28	4	▲2	
計(5)	91.01%	76.47%		159	168	11	11		
第6グループ	笠岡	90.08%	85.50%	3	49	51	0	2	
	玉島	77.68%	74.11%	4	28	28	1	0	
	井原	76.73%	69.81%	4	45	44	3	▲1	
	総社	77.70%	74.10%	4	38	38	7	0	
	高梁	75.00%	72.50%	3	39	41	1	2	
	新見	77.23%	69.31%	4	24	26	2	2	
	笠岡東	92.11%	84.87%	4	38	38	1	0	
	総社吉備路	81.72%	78.49%	3	33	33	2	0	
計(8)	81.03%	76.09%		294	299	17	5		
第7グループ	倉敷	96.48%	80.47%	3	84	89	0	5	
	倉敷南	92.69%	60.17%	4	63	65	5	2	
	児島	86.32%	78.95%	3	29	32	0	3	
	児島東	97.50%	96.25%	4	21	21	0	0	
	倉敷瀬戸内	88.57%	78.22%	3	35	35	3	0	
	倉敷東	94.23%	85.62%	4	40	39	4	▲1	
	倉敷水島	93.51%	90.54%	4	24	22	0	▲2	
	倉敷中央	78.33%	75.00%	4	14	15	3	1	
	計(7)	90.95%	80.65%		310	318	15	8	
	第8グループ	津山	73.12%	58.31%	4	86	88	3	2
		美作	89.72%	89.72%	3	35	37	1	2
津山西		92.24%	86.84%	4	32	31	5	0	
真庭		85.32%	76.15%	3	34	37	0	3	
津山中央		86.73%	85.71%	4	27	26	2	▲1	
計(5)	85.43%	79.35%		214	219	11	6		
第9グループ	岡山	93.10%	72.17%	4	105	112	0	7	
	岡山東	97.21%	89.71%	4	88	90	0	2	
	備前	62.12%	55.87%	4	65	66	9	1	
	岡山後楽園	85.85%	73.11%	4	53	53	0	0	
	岡山北西	85.25%	73.02%	4	51	55	3	4	
	赤磐	73.33%	65.91%	3	19	18	0	▲1	
計(6)	82.81%	71.63%		381	394	12	13		
第10グループ	岡山南	85.48%	74.65%	3	153	155	14	2	
	玉野	87.62%	76.19%	3	35	35	0	0	
	岡山北	80.30%	59.85%	3	45	44	0	▲1	
	岡山中央	78.57%	64.55%	4	40	38	2	▲2	
	牛窓	95.00%	95.00%	4	5	5	0	0	
	岡山旭川	86.00%	68.00%	4	27	26	1	▲1	
計(6)	85.50%	73.04%		305	303	17	▲2		
第11グループ	岡山西	84.38%	72.47%	4	73	75	6	2	
	岡山西南	84.23%	72.07%	4	58	56	4	▲2	
	岡山備南	85.44%	78.22%	4	30	31	2	1	
	岡山丸の内	82.98%	70.21%	4	33	36	2	3	
	岡山城	97.37%	86.49%	3	25	26	1	1	
	岡山岡南	80.37%	68.87%	3	35	37	5	2	
計(6)	85.79%	74.72%		254	261	20	7		

クラブ数	67RC
7月1日現在会員数	3,036名
2月末日会員数	3,109名
内女性会員数	165名
純増	76名
2月出席率	make-up後 86.30% ホームクラブ 75.31%

わが町 隠れスポット



種松山

倉敷市福田町

倉敷市街地の南に位置し(倉敷地域と水島地域を分けている)、山頂公園・中央斎場等の施設があり四季の風情が感じられる種松山の一部を紹介いたします。

夜景といえば鷲羽山スカイラインから眼下に見える水島コンビナートの夜景が有名ですが、ここに紹介する種松山からの夜景写真は、倉敷市広江側から車で5分程の隠れスポットで撮影しました。(車の駐車も難しく、週末には暴走族が出没します)

種松山の春は桜の花見もできます。山頂付近は公園として整備されていて、

場所によっては、水島コンビナートの遠景も桜の花を通して見下ろすことができます。

(第7グループガバナー補佐 中田 利幸)



■森本信一ガバナー事務所

〒708-0022 岡山県津山市山下98-1

津山社会教育文化財団 内

TEL (0868) 35-2307 FAX (0868) 35-2308

E-mail letter@rid2690.jp

<http://www.rid2690.jp/>

(ホームページよりPDFをダウンロードできます。)



みまさかのくに
美作国建国1300年

平安時代に編纂された国史「続日本紀」によると美作の国(岡山県北東部)は和銅6年(713)備前の国の6郡を割いて置かれたとあります。これは国際ロータリー第2690地区第8グループの位置とほぼ重なります。平成25年(2013)は、美作の国が誕生してから1300年にあたります。